

しまねの土地改良だより

2026年（令和8年）3月1日発行（Vol.158） 水土里ネット島根会報

令和7年度土地改良功労者表彰 及び県土連『第68回通常総会』開催

2月9日、松江市の「くにびきメッセ国際会議場」において、令和7年度土地改良功労者表彰及び県土連第68回通常総会を開催し、多数の来賓及び会員等総勢約100名の出席がありました。

楫野会長の挨拶に続き、石原恵利子島根県副知事（県知事祝辞代読）、高橋雅彦島根県議会副議長（県議会議長祝辞代読）から祝辞が述べられた後、土地改良事業の推進・発展に功績のあった土地改良区役員8名の表彰式があり、楫野会長から代表者の泉原省三大田市温泉津町土地改良区理事長に表彰状と記念品が授与されました。表彰式では、農林水産省農村振興局の青山健治次長から祝辞が述べられたあと進藤金日子参議院議員からのビデオメッセージが披露されました。



土地改良功労者表彰

引き続き総会に入り、会員52名のうち51名（内委任状出席13名）出席のもと、石飛雲南市長が議長となり、議事録署名人として下森津和野町長、大屋邑南町長を選出した後、令和6年度事業報告及び収支決算、令和7年度補正予算、令和8年度事業計画及び収支予算案等が提出され、可決承認されました。また役員の新選任については、銓衡委員会が別室で行われ、その後、総会の場で下森銓衡委員長（津和野町長）より新役員の新選任の推薦後、可決承認されました。最後に関係機関に対し農業農村整備関係予算の必要額の確保などを求めた決議文（2頁に掲載）を原田大田市三瓶土地改良区理事長が読み上げ、全会一致で採択されました。

【承認・可決された提出議案】

第1号議案	令和6年度事業報告の承認について
第2号議案	令和6年度会計収入支出決算及び財産目録の承認について
第3号議案	令和7年度会計収入支出補正予算(案)の議決について
第4号議案	令和8年度事業計画(案)の議決について
第5号議案	令和8年度賦課金の賦課及び徴収方法(案)の議決について
第6号議案	令和8年度会計収入支出予算(案)の議決について
第7号議案	令和8年度借入金の限度額及び取引金融機関の承認について
第8号議案	役員報酬の承認について
第9号議案	役員の新選任について

■ 令和7年度土地改良功労者表彰及び県土連『第68回通常総会』開催	1
■ 県土連の新たな役員	2
■ 令和7年度 土地改良功労者表彰	2
■ 島根県大区画化等推進協議会設立総会開催	3
■ 島根県農地・水・環境保全協議会総会開催	3
■ 令和7年度多面的機能支払交付金中国四国シンポジウムinえひめ開催	4
■ 3月の主な予定	4

決 議 (案)

農業は、自然と共存しながら、我々が生存してゆくために欠くことのできない食料を生産する重要な産業であり、食料の安定供給はもちろん、国土保全、良好な景観形成、文化の伝承など多面的機能を有している農業・農村の振興が不可欠である。

しかしながら、農業従事者の高齢化や減少により、農地の荒廃、担い手不足等による農地・農業用水の管理や営農継続への影響に加え、地球規模の異常気象に伴う大規模災害の頻発化、また、世界的な食料情勢の変化や物価高騰など、我が国の食料・農業・農村を巡る状況は、大きく変化している。

このような中、食料・農業・農村基本法改正を受けて土地改良法も改正され、新たな食料・農業・農村基本計画やこれを踏まえた土地改良長期計画が閣議決定され、農業の構造転換を五年間で集中して実施することとなった。これらの背景を踏まえた上で、将来にわたり本県の農業・農村が持続的に発展するよう、生産基盤の保全も含めた必要な見直しや施策の拡充を行い、土地改良を通じて地域の課題に積極的に対応していく必要がある。

これらの状況を踏まえ、今後とも本県の農業・農村の発展が滞ることのないよう、左記事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

- 一、 食料安全保障に資する農業農村整備関係予算の必要額を確保すること
- 一、 農地の集積・集約化、高収益作物の生産拡大、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化を促す農地の大区画化等の取り組みを推進すること
- 一、 中山間地域におけるきめ細かな農地整備等を推進すること
- 一、 災害に強い農業農村づくりに向けた防災・減災対策を着実に推進すること
- 一、 地域農業を支える土地改良施設を適切に保全管理している土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること
- 一、 農村地域を支えている多面的機能支払い及び中山間地域等直接支払いの推進にあたっては、必要な予算確保に加え地域の実情に即した拡充を図ること

右決議する。

令和八年二月九日

島根県土地改良事業団体連合会 第六十八回通常総会

県土連の新たな役員

県土連「第68回通常総会」において選出された役員（理事1名、監事1名）は次のとおりです。

任期 令和10年3月31日まで

種 別	選出管内 (会員数)	氏 名	役 職
理 事	浜田管内 (4会員)	中 村 中	江津市長
監 事	土地改良区代表	持 田 幹 男	出雲市斐川土地改良区理事長

令和7年度 土地改良功労者表彰

〈 受 賞 者 〉

○役員の一部【8名】

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 足立 幹男 様 (大社町土地改良区副理事長) | 泉原 省三 様 (大田市温泉津町土地改良区理事長) |
| 内藤 盛雄 様 (大社町土地改良区会計理事) | 原田 清 様 (大田市温泉津町土地改良区理事) |
| 澄田 貴 様 (大社町土地改良区総括監事) | 森崎 延正 様 (江津市土地改良区監事) |
| 影山 順 様 (大社町土地改良区監事) | 吉岡 満 様 (津和野町土地改良区工事担当理事) |

2月9日の土地改良功労者表彰式にて受賞されました皆様、おめでとうございます。

島根県大区画化等推進協議会設立総会開催

令和8年2月9日に島根県大区画化等推進協議会の設立総会が松江市の「くにびきメッセ」にて開催されました。これは、5カ年の農業構造転換集中対策として、農地の大区画化等を推進することを目的に、令和7年度補正予算から新たに「大区画化等加速化支援事業」が創設されましたが、法人等の農業者自らが行う畦畔除去等の簡易な整備による大区画化等の取組を国が定額支援するものであり、国から大区画化等推進協議会へ交付金が交付され、協議会が農業者等へ交付する仕組みとなっており、この協議会事務局を県土連が担うこととして、今回、協議会を設立するものです。



総会の議案では「島根県大区画化等推進協議会規約等の制定について」「島根県大区画化等推進協議会役員を選任について」「令和8年度島根県大区画化等推進協議会事業計画（案）及び会計収支予算（案）について」の3議案について、県土連から説明があり、各議案が審議され、全議案について承認を得ました。

会員は島根県、市町、しまね農業振興公社、島根県土地改良事業団体連合会で組織し、協議会の業務を円滑に推進するために幹事会を設置します。

役員については、会長に田中安来市長、副会長に山本島根県農林水産部長、監事に石飛雲南市長及び栗原しまね農業振興公社専務理事が選出され、任期は令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間です。

協議会では、今後事業の周知を図り、農業者への技術指導、交付事務を担いながら、「大区画化等加速化支援事業」の推進に取り組むこととしています。

島根県農地・水・環境保全協議会総会開催

令和8年2月9日に令和7年度島根県農地・水・環境保全協議会総会が松江市の「くにびきメッセ」にて開催されました。

総会では「令和6年度事業報告の承認について」、「令和6年度会計収入支出決算の承認について」、「規約の一部改正について」、「令和7年度会計収入支出補正予算（案）について」、「令和8年度事業計画（案）について」、「令和8年度会計収入支出予算（案）について」以上の6議案について事務局より説明があり、各議案が審議され、全議案について承認を得ました。



規約の一部改正では、第6期対策初年度にあたり、協定の活動継続や活動活性化に向けて、協定の体制づくりやサポート体制の構築等を推進していくため、本協議会の機能を拡張する形で、日本型直接支払推進交付金（中山間地域等直接支払推進交付金）も対象事業として追加されました。

令和7年度 多面的機能支払交付金 中国四国シンポジウム in えひめ開催

令和8年2月12日に、「多面的機能支払中国四国シンポジウム」が愛媛県で開催され、中国四国管内の活動組織及び関係者約500名（島根県からは27名）の参加がありました。

シンポジウムでは、愛媛県内子町で活躍されているミカタスイッチ株式会社の納堂代表取締役から『地域の魅力発見の鍵は「あるものさがしにあり」』と題した講演で、地域の資源についてモノの見方（ミカタ）を変える（スイッチ）ことで「ないものねだり」でなく「あるものさがし」を実践し、地域づくりをされているお話をいただきました。次に、中国四国農政局長表彰式が執り行われ、最優秀賞を受賞された鳥取県と山口県の組織からの活動事例発表がありました。最後に、愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント学科の竹島助教をコーディネーターに、農林水産省農村振興局整備部農地資源課多面的機能支払推進室の村瀬室長、納堂代表取締役、最優秀賞2組織の活動事例発表者、愛媛県の活動組織の代表者、愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント学科の学生をパネラーにパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、「多様な人材とのつながり」、「これからに向けて」のテーマについて、パネラーから活発な意見が交わされました。現役の学生から「学生の多くは農業に関心があり、地域も学生の協力の需要があると思う。地域の活動に参加する際の交通手段などの課題もある。」などの意見がありました。



組織と外部団体等が連携を図りやすくするためにも、本事業の認知度を上げるPRを更に進めることも重要と感じたシンポジウムとなりました。

3月の主な予定

開催日	行事等	開催地
3月4日（水）	中国四国土地改良事業団体連合会協議会事責任者会議	広島市
3月25日（水）	全国水土里ネット通常総会及び土地改良功労者表彰式	東京都

みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ<https://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp